

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約5年間（2013年8月20日～2018年8月17日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス、「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス、「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル・クラス、「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス、「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
運用方法	①主として、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 （※1）は前述。 （※2）米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。以下同じ。 ②当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／（※3）買いの為替取引を行ないます。 （※3）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円、「豪ドル・コース」の場合……豪ドル、「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル、「通貨セレクト・コース」の場合……選定通貨（選定通貨とは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の投資顧問会社が決定した複数の通貨をいいます。）
	米ドル・コース以外
	米ドル・コース
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ、計算期末の前営業日の基準価額（1万円当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万円当り）を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合……300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……450円 e. 12,500円以上の場合……500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド

－イーグルアイⅡ－

予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／
ブラジル・リアル・コース／
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

運用報告書(全体版)

第8期（決算日 2015年8月28日）

第9期（決算日 2015年11月30日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型」は、このたび、第9期の決算を行ないました。

ここに、第8期～第9期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <5770>
お問い合わせ先（コールセンター） <5771>
TEL 0120-106212 <5772>
（営業日の9:00～17:00） <5773>
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5774>

★日本円・コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2013年11月28日)	10,504	300	8.0	10,979	9.8	0.1	95.6	3,377
2 期末 (2014年 2月28日)	10,322	300	1.1	11,265	2.6	0.1	95.2	2,980
3 期末 (2014年 5月28日)	10,308	300	2.8	11,615	3.1	0.1	95.7	2,674
4 期末 (2014年 8月28日)	10,749	350	7.7	12,151	4.6	0.1	97.3	2,236
5 期末 (2014年11月28日)	10,642	300	1.8	12,593	3.6	0.1	96.3	1,942
6 期末 (2015年 3月 2日)	10,417	300	0.7	12,785	1.5	0.1	96.6	1,776
7 期末 (2015年 5月28日)	10,381	300	2.5	12,900	0.9	0.1	96.7	1,581
8 期末 (2015年 8月28日)	9,065	0	△ 12.7	12,075	△ 6.4	0.1	93.7	1,296
9 期末 (2015年11月30日)	9,410	0	3.8	12,698	5.2	0.2	94.0	1,184

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

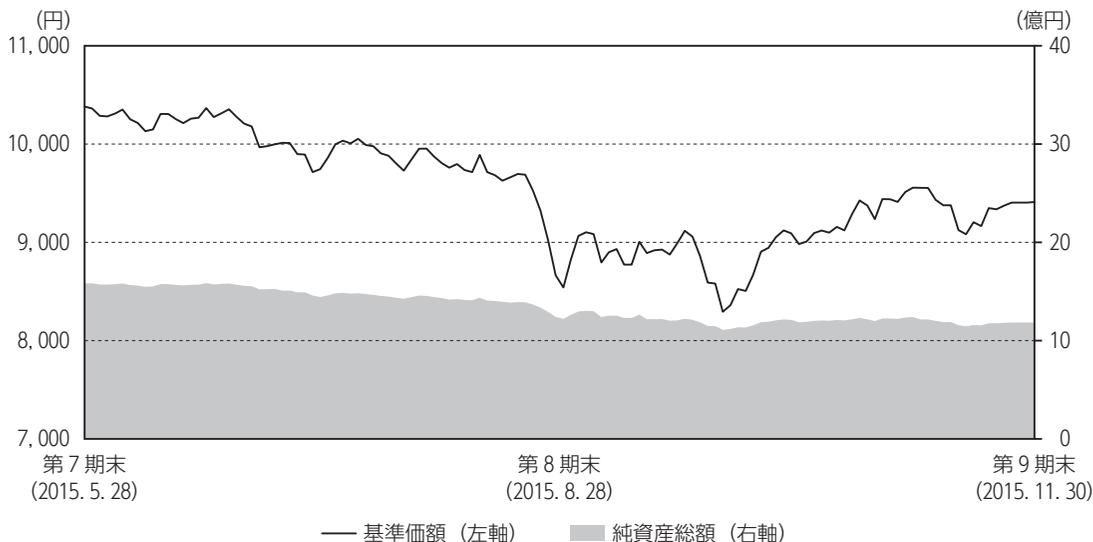
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

第8期首：10,381円

第9期末：9,410円

騰落率：△9.4%

■基準価額の主な変動要因

資源価格の下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第 8 期	(期首) 2015年 5 月 28 日	10,381	—	12,900	—	0.1	96.7
	5 月 末	10,363	△ 0.2	12,884	△ 0.1	0.1	96.5
	6 月 末	9,968	△ 4.0	12,500	△ 3.1	0.1	96.5
	7 月 末	9,954	△ 4.1	12,810	△ 0.7	0.1	98.1
	(期末) 2015年 8 月 28 日	9,065	△ 12.7	12,075	△ 6.4	0.1	93.7
第 9 期	(期首) 2015年 8 月 28 日	9,065	—	12,075	—	0.1	93.7
	8 月 末	9,103	0.4	12,083	0.1	0.1	96.8
	9 月 末	8,361	△ 7.8	11,446	△ 5.2	0.2	98.5
	10 月 末	9,439	4.1	12,693	5.1	0.2	98.1
	(期末) 2015年 11 月 30 日	9,410	3.8	12,698	5.2	0.2	94.0

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、第8期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや、米国の利上げ観測などから上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことから、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

○短期金利市況

日銀は、金融緩和政策を継続しました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないません。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないません。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

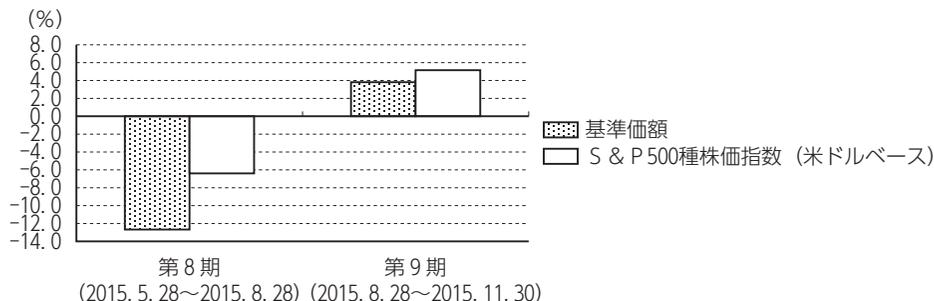
US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第8期および第9期は、外国投資信託における配当収益等相当分から経費（外国投資信託を含みます。）を控除した額がマイナスになったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第8期	第9期
		2015年5月29日 ～2015年8月28日	2015年8月29日 ～2015年11月30日
当期分配金（税込み）	(円)	—	—
対基準価額比率	(%)	—	—
当期の収益	(円)	—	—
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	374	438

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いません。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 8 期～第 9 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29～2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	59円	0.617%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,497円です。
(投信会社)	(21)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(36)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.621	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

決算期	第8期～第9期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 493.263	千円 52,714	千口 2,946.946	千円 315,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

第8期				第9期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 377.198	千円 40,000	円 106	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,946.946	千円 315,000	円 106

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間(第8期～第9期)中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間(第8期～第9期)中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

区分	第8期～第9期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 38,162	百万円 4,559	% 11.9	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,279,066	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 9 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	10,179.91	1,113,702	94.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第7期末	第 9 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	3,488	3,488	3,503

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	第 9 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,113,702	93.7
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	3,503	0.3
コール・ローン等、その他	71,568	6.0
投資信託財産総額	1,188,773	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月28日)、(2015年11月30日)現在

項 目	第 8 期末	第 9 期末
(A) 資産	1,300,905,692円	1,188,773,957円
コール・ローン等	82,712,947	71,568,256
投資信託受益証券(評価額)	1,214,689,954	1,113,702,561
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	3,502,791	3,503,140
(B) 負債	4,553,245	3,808,949
未払信託報酬	4,523,142	3,753,858
その他未払費用	30,103	55,091
(C) 純資産総額(A-B)	1,296,352,447	1,184,965,008
元本	1,430,017,732	1,259,269,918
次期繰越損益金	△ 133,665,285	△ 74,304,910
(D) 受益権総口数	1,430,017,732口	1,259,269,918口
1万口当り基準価額(C/D)	9,065円	9,410円

* 第7期末における元本額は1,523,180,426円、当作成期間(第8期~第9期)中における追加設定元本額は8,453,753円、同解約元本額は272,364,261円です。
* 第9期末の計算口数当りの純資産額は9,410円です。
* 第9期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は74,304,910円です。

■損益の状況

第8期 自2015年5月29日 至2015年8月28日
第9期 自2015年8月29日 至2015年11月30日

項 目	第 8 期	第 9 期
(A) 配当等収益	6,365,522円	6,350,796円
受取配当金	6,359,441	6,346,770
受取利息	6,081	4,026
(B) 有価証券売買損益	△ 189,742,523	40,829,282
売買益	5,444,167	43,734,737
売買損	△ 195,186,690	△ 2,905,455
(C) 信託報酬等	△ 4,553,245	△ 3,778,846
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 187,930,246	43,401,232
(E) 前期繰越損益金	47,164,754	△ 123,939,607
(F) 追加信託差損益金	7,100,207	6,233,465
(配当等相当額)	(4,546,313)	(4,009,713)
(売買損益相当額)	(2,553,894)	(2,223,752)
(G) 合計(D+E+F)	△ 133,665,285	△ 74,304,910
(G) 次期繰越損益金(G)	△ 133,665,285	△ 74,304,910
追加信託差損益金	7,100,207	6,233,465
(配当等相当額)	(4,546,313)	(4,009,713)
(売買損益相当額)	(2,553,894)	(2,223,752)
分配準備積立金	48,977,243	48,965,352
繰越損益金	△ 189,742,735	△ 129,503,727

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,812,489円	5,842,425円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	4,546,313	6,233,465
(d) 分配準備積立金	47,164,754	43,122,927
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	53,523,556	55,198,817
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	53,523,556	55,198,817
(h) 受益権総口数	1,430,017,732口	1,259,269,918口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★豪ドル・コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %			
1 期末 (2013年11月28日)	11,017	350	13.7	10,979	9.8	92.97	4.3	0.1	96.1	2,374
2 期末 (2014年 2月28日)	10,717	300	0.0	11,265	2.6	91.40	△ 1.7	0.1	95.1	1,850
3 期末 (2014年 5月28日)	11,091	350	6.8	11,615	3.1	94.38	3.3	0.1	97.4	1,519
4 期末 (2014年 8月28日)	11,895	450	11.3	12,151	4.6	96.92	2.7	0.2	96.8	1,191
5 期末 (2014年11月28日)	12,078	500	5.7	12,593	3.6	100.71	3.9	0.2	97.1	1,010
6 期末 (2015年 3月 2日)	11,039	350	△ 5.7	12,785	1.5	93.35	△ 7.3	0.2	96.8	815
7 期末 (2015年 5月28日)	11,230	400	5.4	12,900	0.9	95.80	2.6	0.2	97.1	801
8 期末 (2015年 8月28日)	8,851	40	△ 20.8	12,075	△ 6.4	87.11	△ 9.1	0.2	93.8	621
9 期末 (2015年11月30日)	9,377	40	6.4	12,698	5.2	88.12	1.2	0.2	94.2	619

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第8期首：11,230円

第9期末：9,377円（既払分配金80円）

騰落率：△15.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

資源価格下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことや、豪ドルが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第 8 期	(期首) 2015年 5月28日	11,230	—	12,900	—	95.80	—	0.2	97.1
	5月末	11,149	△ 0.7	12,884	△ 0.1	94.83	△ 1.0	0.2	96.5
	6月末	10,628	△ 5.4	12,500	△ 3.1	93.93	△ 2.0	0.2	96.9
	7月末	10,258	△ 8.7	12,810	△ 0.7	90.61	△ 5.4	0.2	96.8
	(期末) 2015年 8月28日	8,891	△ 20.8	12,075	△ 6.4	87.11	△ 9.1	0.2	93.8
第 9 期	(期首) 2015年 8月28日	8,851	—	12,075	—	87.11	—	0.2	93.8
	8月末	8,917	0.7	12,083	0.1	86.55	△ 0.6	0.2	96.5
	9月末	7,971	△ 9.9	11,446	△ 5.2	84.06	△ 3.5	0.3	97.2
	10月末	9,163	3.5	12,693	5.1	85.97	△ 1.3	0.3	97.3
	(期末) 2015年 11月30日	9,417	6.4	12,698	5.2	88.12	1.2	0.2	94.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、第8期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや、米国の利上げ観測などから上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことから、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

○為替相場

豪ドルの対円相場は、ギリシャ情勢の混乱による投資資金のリスク回避の動きや、中国経済の減速懸念からアジア株式市況が大きく下落したことに影響され、下落基調が続きました。しかし2015年10月以降には、世界的な株式市況の上昇などから市場参加者の投資姿勢が積極化したことや、オーストラリアの利下げ観測が徐々に後退したことなどをを受けて反発し、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

○短期金利市況

オーストラリアでは、政策金利は2.00%で据え置かれました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル

売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

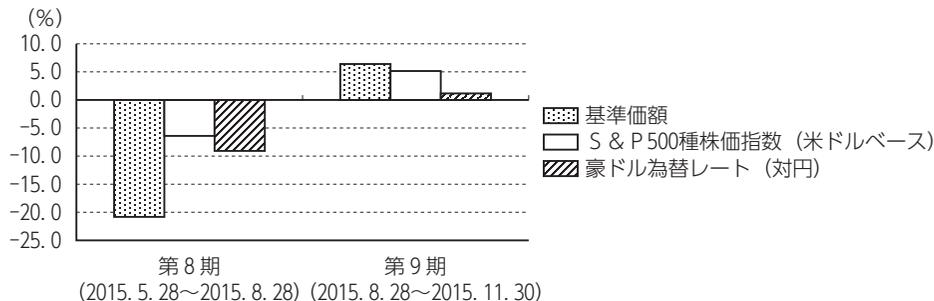
US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第8期および第9期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ40円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第8期	第9期
		2015年5月29日 ～2015年8月28日	2015年8月29日 ～2015年11月30日
当期分配金（税込み）	(円)	40	40
対基準価額比率	(%)	0.45	0.42
当期の収益	(円)	40	40
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,478	1,551

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	70.46円	87.22円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	140.37	174.17
(d) 分配準備積立金	1,307.20	1,329.66
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,518.04	1,591.06
(f) 分配金	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,478.04	1,551.06

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いません。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行いません。

1万口当りの費用の明細

項 目	第8期～第9期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29～2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	60円	0.617%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,654円です。
(投信会社)	(21)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(37)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	60	0.621	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

決算期	第8期～第9期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 304.362	千円 30,403	千口 887.583	千円 88,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

第8期～第9期				第9期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 175.375	千円 17,000	円 96	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 887.583	千円 88,000	円 99

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第8期～第9期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第8期～第9期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

区分	第8期～第9期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	38,162	4,559	11.9	—	—	—
コール・ローン	1,279,066	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 9 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	5,739.823	583,797	94.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第7期末	第 9 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,492	2,492	2,502

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	第 9 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	583,797	93.5
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,502	0.4
コール・ローン等、その他	38,237	6.1
投資信託財産総額	624,537	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月28日)、(2015年11月30日)現在

項 目	第 8 期末	第 9 期末
(A) 資産	626,639,037円	624,537,353円
コール・ローン等	41,356,322	38,237,695
投資信託受益証券(評価額)	582,780,721	583,797,415
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	2,501,994	2,502,243
(B) 負債	5,109,796	4,574,938
未払収益分配金	2,808,832	2,644,518
未払信託報酬	2,285,772	1,902,593
その他未払費用	15,192	27,827
(C) 純資産総額(A-B)	621,529,241	619,962,415
元本	702,208,101	661,129,655
次期繰越損益金	△ 80,678,860	△ 41,167,240
(D) 受益権総口数	702,208,101口	661,129,655口
1万口当り基準価額(C/D)	8,851円	9,377円

* 第7期末における元本額は713,649,979円、当作成期間(第8期~第9期)中における追加設定元本額は9,746,429円、同解約元本額は62,266,753円です。

* 第9期末の計算口数当りの純資産額は9,377円です。

* 第9期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は41,167,240円です。

■損益の状況

第8期 自2015年5月29日 至2015年8月28日
第9期 自2015年8月29日 至2015年11月30日

項 目	第 8 期	第 9 期
(A) 配当等収益	7,248,854円	6,060,634円
受取配当金	7,245,717	6,058,322
受取利息	3,137	2,312
(B) 有価証券売買損益	△ 169,055,144	33,454,962
売買益	1,453,079	34,740,927
売買損	△ 170,508,223	△ 1,285,965
(C) 信託報酬等	△ 2,300,964	△ 1,915,228
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 164,107,254	37,600,368
(E) 前期繰越損益金	73,271,720	87,638,353
(F) 追加信託差損益金	12,965,506	11,515,263
(配当等相当額)	(9,857,417)	(9,810,362)
(売買損益相当額)	(3,108,089)	(1,704,901)
(G) 合計(D+E+F)	△ 77,870,028	△ 38,522,722
(H) 収益分配金	△ 2,808,832	△ 2,644,518
次期繰越損益金(G+H)	△ 80,678,860	△ 41,167,240
追加信託差損益金	12,965,506	11,515,263
(配当等相当額)	(9,857,417)	(9,810,362)
(売買損益相当額)	(3,108,089)	(1,704,901)
分配準備積立金	93,932,243	91,030,273
繰越損益金	△ 187,576,609	△ 143,712,776

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は22ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,948,042円	5,767,021円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	9,857,417	11,515,263
(d) 分配準備積立金	91,793,033	87,907,770
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	106,598,492	105,190,054
(f) 分配金	2,808,832	2,644,518
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	103,789,660	102,545,536
(h) 受益権総口数	702,208,101口	661,129,655口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金 (単 価)	第8期	第9期
		40円 (8,851円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ブラジル・リアル・コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %			
1 期末 (2013年11月28日)	11,503	400	19.0	10,979	9.8	43.75	8.1	0.1	96.7	3,643
2 期末 (2014年 2月28日)	11,326	400	1.9	11,265	2.6	43.94	0.4	0.1	95.6	2,890
3 期末 (2014年 5月28日)	11,988	450	9.8	11,615	3.1	45.56	3.7	0.1	97.5	2,673
4 期末 (2014年 8月28日)	12,807	500	11.0	12,151	4.6	46.18	1.4	0.1	96.9	2,368
5 期末 (2014年11月28日)	13,076	500	6.0	12,593	3.6	46.69	1.1	0.1	97.4	2,286
6 期末 (2015年 3月 2日)	11,673	400	△ 7.7	12,785	1.5	42.19	△ 9.6	0.1	97.1	1,800
7 期末 (2015年 5月28日)	11,133	350	△ 1.6	12,900	0.9	39.39	△ 6.6	0.1	96.6	1,577
8 期末 (2015年 8月28日)	8,436	270	△ 21.8	12,075	△ 6.4	34.08	△ 13.5	0.2	96.3	1,079
9 期末 (2015年11月30日)	8,307	270	1.7	12,698	5.2	31.93	△ 6.3	0.2	96.2	960

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

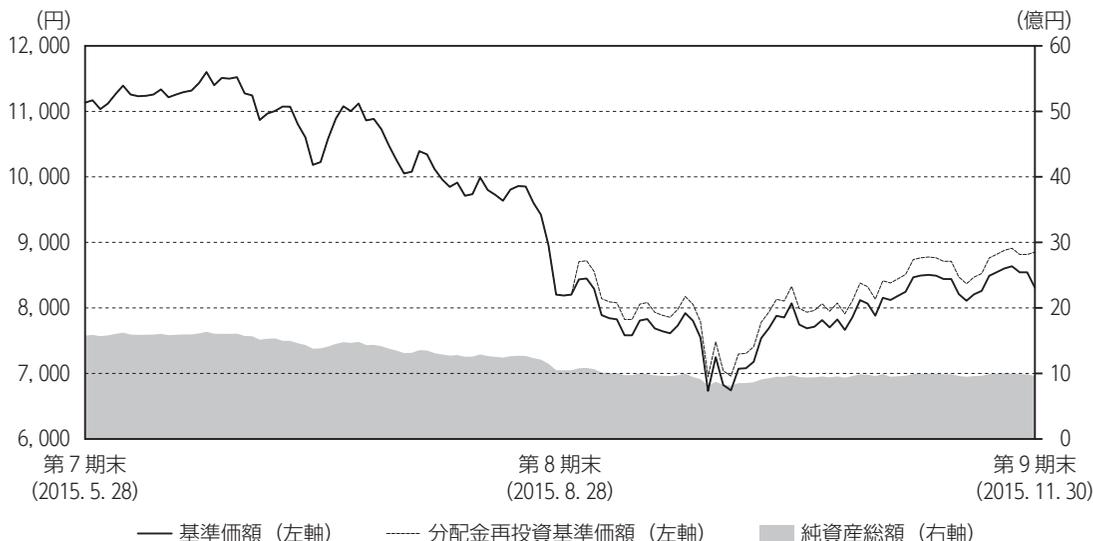
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第8期首：11,133円

第9期末：8,307円（既払分配金540円）

騰落率：△20.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

資源価格下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことや、ブラジル・リアルが対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第 8 期	(期首) 2015年 5 月 28 日	11,133	—	12,900	—	39.39	—	0.1	96.6
	5 月 末	11,170	0.3	12,884	△ 0.1	39.12	△ 0.7	0.1	96.3
	6 月 末	10,868	△ 2.4	12,500	△ 3.1	39.27	△ 0.3	0.1	98.3
	7 月 末	10,343	△ 7.1	12,810	△ 0.7	36.78	△ 6.6	0.1	96.8
	(期末) 2015年 8 月 28 日	8,706	△ 21.8	12,075	△ 6.4	34.08	△ 13.5	0.2	96.3
第 9 期	(期首) 2015年 8 月 28 日	8,436	—	12,075	—	34.08	—	0.2	96.3
	8 月 末	8,449	0.2	12,083	0.1	33.82	△ 0.8	0.2	96.0
	9 月 末	6,743	△ 20.1	11,446	△ 5.2	29.53	△ 13.4	0.3	96.2
	10 月 末	8,121	△ 3.7	12,693	5.1	31.39	△ 7.9	0.3	97.9
	(期末) 2015年 11 月 30 日	8,577	1.7	12,698	5.2	31.93	△ 6.3	0.2	96.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○米国株式市況**

米国株式市況は、第8期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや、米国の利上げ観測などから上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことから、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

○為替相場

ブラジル・リアルの対円相場は、おおむねレンジ内での推移が続きましたが、2015年7月以降には、中国経済に対する懸念が深まるに連れて投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、また、ブラジルの政治的不透明感が高まっていることや国内景気鈍化への懸念が高まっていることなどを背景として、下落基調が続きました。10月以降は、米国の利上げ観測が後退したため、新興国通貨全般に対する不透明感が和らいだことから、下げ幅を縮小しました。

○短期金利市況

ブラジル・リアルの短期金利は、インフレ懸念による利上げ観測などを背景に、上昇基調が続きました。

米国では、政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社

株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないました。

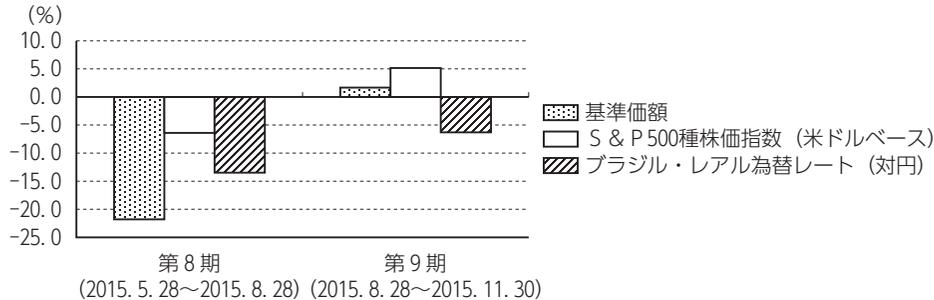
○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第8期および第9期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ270円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第8期	第9期
		2015年5月29日 ～2015年8月28日	2015年8月29日 ～2015年11月30日
当期分配金（税込み）	(円)	270	270
対基準価額比率	(%)	3.10	3.15
当期の収益	(円)	270	270
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,099	3,137

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	388.65円	308.17円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	518.57	571.12
(d) 分配準備積立金	2,462.14	2,528.31
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,369.37	3,407.61
(f) 分配金	270.00	270.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,099.37	3,137.61

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 8 期～第 9 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29～2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	57円	0.616%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,215円です。
(投信会社)	(20)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(35)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.620	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

決算期	第8期～第9期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 1,257.523	千円 103,570	千口 3,696.765	千円 312,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

第8期～第9期				第9期			
買付			平均単価	売付			平均単価
銘柄	□数	金額		銘柄	□数	金額	
US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 133.763	千円 10,000	円 74	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 3,696.765	千円 312,000	円 84

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第8期～第9期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第8期～第9期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

区分	第8期～第9期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	38,162	4,559	11.9	—	—	—
コール・ローン	1,279,066	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 9 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	11,787.987	924,496	96.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第7期末	第 9 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	3,488	3,488	3,503

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	第 9 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	924,496	92.9
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	3,503	0.4
コール・ローン等、その他	66,916	6.7
投資信託財産総額	994,916	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月28日)、(2015年11月30日)現在

項 目	第 8 期末	第 9 期末
(A) 資産	1,118,471,917円	994,916,440円
コール・ローン等	75,024,044	66,916,813
投資信託受益証券(評価額)	1,039,945,082	924,496,487
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	3,502,791	3,503,140
(B) 負債	38,957,700	34,267,901
未払収益分配金	34,552,314	31,225,540
未払信託報酬	4,376,259	2,993,324
その他未払費用	29,127	49,037
(C) 純資産総額(A-B)	1,079,514,217	960,648,539
元本	1,279,715,349	1,156,501,502
次期繰越損益金	△ 200,201,132	△ 195,852,963
(D) 受益権総口数	1,279,715,349口	1,156,501,502口
1万口当り基準価額(C/D)	8,436円	8,307円

* 第7期末における元本額は1,417,448,674円、当作成期間(第8期~第9期)中における追加設定元本額は36,026,254円、同解約元本額は296,973,426円です。

* 第9期末の計算口数当りの純資産額は8,307円です。

* 第9期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は195,852,963円です。

■損益の状況

第8期 自2015年5月29日 至2015年8月28日
第9期 自2015年8月29日 至2015年11月30日

項 目	第 8 期	第 9 期
(A) 配当等収益	54,142,472円	38,653,893円
受取配当金	54,136,957	38,649,316
受取利息	5,515	4,577
(B) 有価証券売買損益	△ 360,253,891	△ 18,641,722
売買益	6,337,228	6,417,376
売買損	△ 366,591,119	△ 25,059,098
(C) 信託報酬等	△ 4,405,386	△ 3,013,234
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 310,516,805	△ 16,998,937
(E) 前期繰越損益金	74,676,892	△ 239,389,062
(F) 追加信託差損益金	70,191,095	57,762,702
(配当等相当額)	(66,363,185)	(66,050,326)
(売買損益相当額)	(3,827,910)	(△ 8,287,624)
(G) 合計(D+E+F)	△ 165,648,818	△ 164,627,423
(H) 収益分配金	△ 34,552,314	△ 31,225,540
次期繰越損益金(G+H)	△ 200,201,132	△ 195,852,963
追加信託差損益金	70,191,095	57,762,702
(配当等相当額)	(66,363,185)	(66,050,326)
(売買損益相当額)	(3,827,910)	(△ 8,287,624)
分配準備積立金	330,269,121	296,815,851
繰越損益金	△ 600,661,348	△ 550,431,516

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は33ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	49,737,296円	35,640,922円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	66,363,185	66,050,326
(d) 分配準備積立金	315,084,139	292,400,469
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	431,184,620	394,091,717
(f) 分配金	34,552,314	31,225,540
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	396,632,306	362,866,177
(h) 受益権総口数	1,279,715,349口	1,156,501,502口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第8期	第9期
	270円	270円
(単 価)	(8,436円)	(8,307円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★米ドル・コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2013年11月28日)	10,973	350	13.2	11,454	14.5	0.1	96.5	22,558
2 期末 (2014年 2月28日)	10,731	350	1.0	11,753	2.6	0.1	96.7	18,358
3 期末 (2014年 5月28日)	10,730	300	2.8	12,118	3.1	0.1	96.6	15,913
4 期末 (2014年 8月28日)	11,363	400	9.6	12,905	6.5	0.1	97.8	14,655
5 期末 (2014年11月28日)	12,557	500	14.9	15,237	18.1	0.1	97.4	14,844
6 期末 (2015年 3月 2日)	12,369	500	2.5	15,685	2.9	0.1	97.9	13,931
7 期末 (2015年 5月28日)	12,651	500	6.3	16,326	4.1	0.1	97.8	13,134
8 期末 (2015年 8月28日)	10,730	0	△ 15.2	14,972	△ 8.3	0.1	94.5	10,530
9 期末 (2015年11月30日)	10,978	350	5.6	15,961	6.6	0.1	97.9	9,830

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

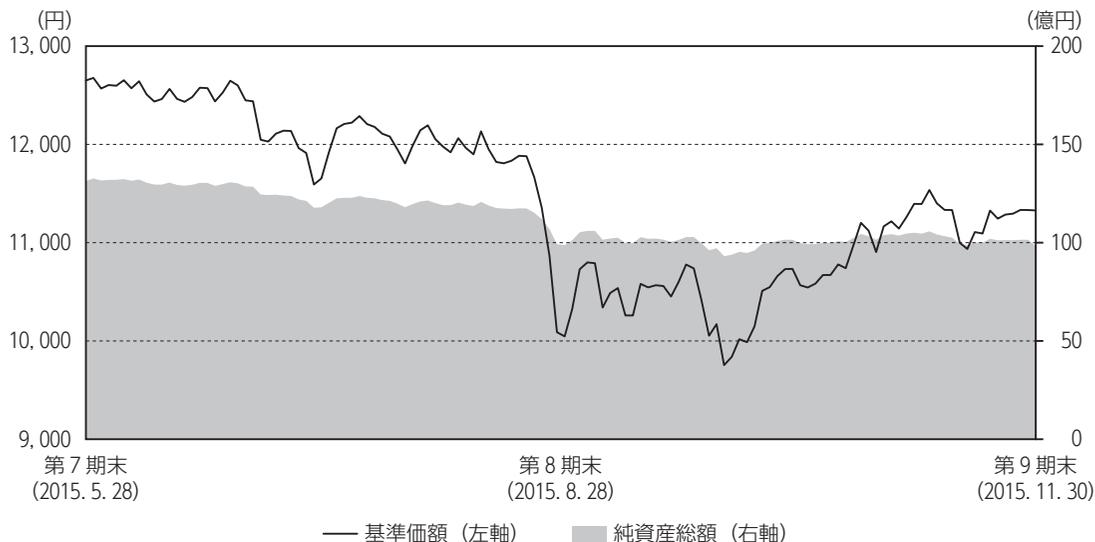
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 第9期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

第8期首：12,651円

第9期末：10,978円 (分配金350円)

騰落率：△10.5% (分配金込み)

■基準価額の変動要因

米ドルが対円で下落したことや資源価格下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	%		
第 8 期	(期首) 2015年 5月28日	12,651	—	16,326	—	0.1	97.8
	5月末	12,676	0.2	16,315	△ 0.1	0.1	97.0
	6月末	12,047	△ 4.8	15,665	△ 4.0	0.1	98.3
	7月末	12,194	△ 3.6	16,262	△ 0.4	0.1	97.9
	(期末) 2015年 8月28日	10,730	△ 15.2	14,972	△ 8.3	0.1	94.5
第 9 期	(期首) 2015年 8月28日	10,730	—	14,972	—	0.1	94.5
	8月末	10,799	0.6	14,985	0.1	0.1	96.9
	9月末	9,838	△ 8.3	14,052	△ 6.1	0.1	98.6
	10月末	11,217	4.5	15,706	4.9	0.1	98.4
	(期末) 2015年11月30日	11,328	5.6	15,961	6.6	0.1	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、第8期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや、米国の利上げ観測などから上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことから、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

○為替相場

米ドルの対円相場は、第8期首より、米国のマクロ経済指標などを受けて米国の利上げへの期待が高まったことなどが支援材料となり、底堅い展開が続きました。2015年8月以降は、中国株式市場の急落などから投資家のリスク回避の円買いの動きが活発化したことで調整しました。10月以降は、ECBの金融緩和姿勢の拡大や中国の追加的な金融緩和を背景に市場のリスク選好度が高まったことで円売り圧力が強まったことなどをを受けて、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

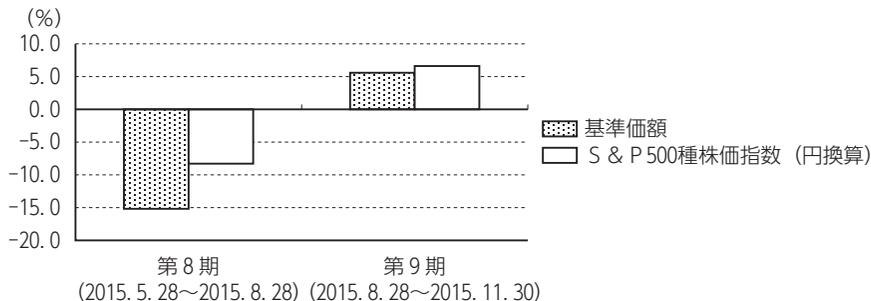
US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組み入れました。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第8期は、外国投資信託における配当収益等相当分から経費（外国投資信託を含みます。）を控除した額がマイナスになったため、収益分配を見送らせていただきました。

第9期の1万口当り分配金（税込み）は350円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第8期 2015年5月29日 ～2015年8月28日		第9期 2015年8月29日 ～2015年11月30日	
	当期分配金（税込み） (円)		—	
対基準価額比率 (%)		—		3.09
当期の収益 (円)		—		60
当期の収益以外 (円)		—		289
翌期繰越分配対象額 (円)		2,616		2,344

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	21.33円	60.23円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	387.64	435.58
(d) 分配準備積立金	2,207.21	2,199.12
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,616.20	2,694.93
(f) 分配金	0.00	350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,616.20	2,344.93

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第8期～第9期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29～2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	70円	0.617%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,414円です。
(投信会社)	(25)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(44)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	71	0.621	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

決算期	第8期～第9期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	2,768.789	366,376	16,244.969	2,150,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

第8期～第9期				第9期			
買付			平均単価	売付			平均単価
銘柄	□数	金額		銘柄	□数	金額	
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	1,922.766	250,000	130	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	16,244.969	2,150,000	132

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第8期～第9期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第8期～第9期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

決算期	第8期～第9期						
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B		B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	
百万円		百万円	%			百万円	百万円
公社債	38,162	4,559	11.9	—	—	—	—
コール・ローン	1,279,066	—	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 9 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	70,801.426	9,627,436	97.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 9 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・ マザーファンド	19,936	19,936	20,017

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	第 9 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	9,627,436	94.6
ダイワ・マネーストック・ マザーファンド	20,017	0.2
コール・ローン等、その他	528,618	5.2
投資信託財産総額	10,176,072	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月28日)、(2015年11月30日)現在

項 目	第 8 期 末	第 9 期 末
(A) 資産	10,601,775,472円	10,176,072,702円
コール・ローン等	625,788,755	528,618,448
投資信託受益証券(評価額)	9,955,970,768	9,627,436,311
ダイワ・マネーストック・ マザーファンド(評価額)	20,015,949	20,017,943
(B) 負債	71,233,323	345,477,234
未払収益分配金	—	313,418,284
未払解約金	33,391,762	—
未払信託報酬	37,590,997	31,597,788
その他未払費用	250,564	461,162
(C) 純資産総額(A-B)	10,530,542,149	9,830,595,468
元本	9,814,431,781	8,954,808,133
次期繰越損益金	716,110,368	875,787,335
(D) 受益権総口数	9,814,431,781口	8,954,808,133口
1万口当り基準価額(C/D)	10,730円	10,978円

*第7期末における元本額は10,381,670,832円、当作成期間(第8期~第9期)中における追加設定元本額は408,761,519円、同解約元本額は1,835,624,218円です。

*第9期末の計算口数当りの純資産額は10,978円です。

■損益の状況

第8期 自2015年5月29日 至2015年8月28日
第9期 自2015年8月29日 至2015年11月30日

項 目	第 8 期	第 9 期
(A) 配当等収益	58,779,520円	57,143,949円
受取配当金	58,740,018	57,111,101
受取利息	39,502	32,848
(B) 有価証券売買損益	△1,893,350,434	509,241,919
売買益	56,423,508	538,112,586
売買損	△1,949,773,942	△ 28,870,667
(C) 信託報酬等	△ 37,841,561	△ 31,808,386
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,872,412,475	534,577,482
(E) 前期繰越損益金	2,166,259,176	264,568,421
(F) 追加信託差損益金	422,263,667	390,059,716
(配当等相当額)	(380,454,982)	(373,490,748)
(売買損益相当額)	(41,808,685)	(16,568,968)
(G) 合計(D+E+F)	716,110,368	1,189,205,619
(H) 収益分配金	—	△ 313,418,284
次期繰越損益金(G+H)	716,110,368	875,787,335
追加信託差損益金	422,263,667	390,059,716
(配当等相当額)	(380,454,982)	(373,490,748)
(売買損益相当額)	(41,808,685)	(16,568,968)
分配準備積立金	2,187,198,413	1,709,788,247
繰越損益金	△1,893,351,712	△1,224,060,628

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は44ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 8 期	第 9 期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,939,237円	53,936,042円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	380,454,982	390,059,716
(d) 分配準備積立金	2,166,259,176	1,969,270,489
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,567,653,395	2,413,266,247
(f) 分配金	0	313,418,284
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,567,653,395	2,099,847,963
(h) 受益権総口数	9,814,431,781口	8,954,808,133口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第 9 期
	350円
(単 価)	(10,978円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★通貨セレクト・コース

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2013年11月28日)	11,049	350	14.0	10,979	9.8	0.1	96.8	12,333
2 期末 (2014年 2月28日)	10,480	300	△ 2.4	11,265	2.6	0.1	95.1	9,539
3 期末 (2014年 5月28日)	11,074	350	9.0	11,615	3.1	0.1	96.8	7,789
4 期末 (2014年 8月28日)	11,609	450	8.9	12,151	4.6	0.1	98.2	6,628
5 期末 (2014年11月28日)	11,922	450	6.6	12,593	3.6	0.1	97.0	6,019
6 期末 (2015年 3月 2日)	10,635	350	△ 7.9	12,785	1.5	0.1	97.0	5,178
7 期末 (2015年 5月28日)	10,628	300	2.8	12,900	0.9	0.2	96.9	4,808
8 期末 (2015年 8月28日)	8,178	180	△ 21.4	12,075	△ 6.4	0.2	95.2	3,482
9 期末 (2015年11月30日)	8,456	180	5.6	12,698	5.2	0.2	95.3	3,277

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数 (米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

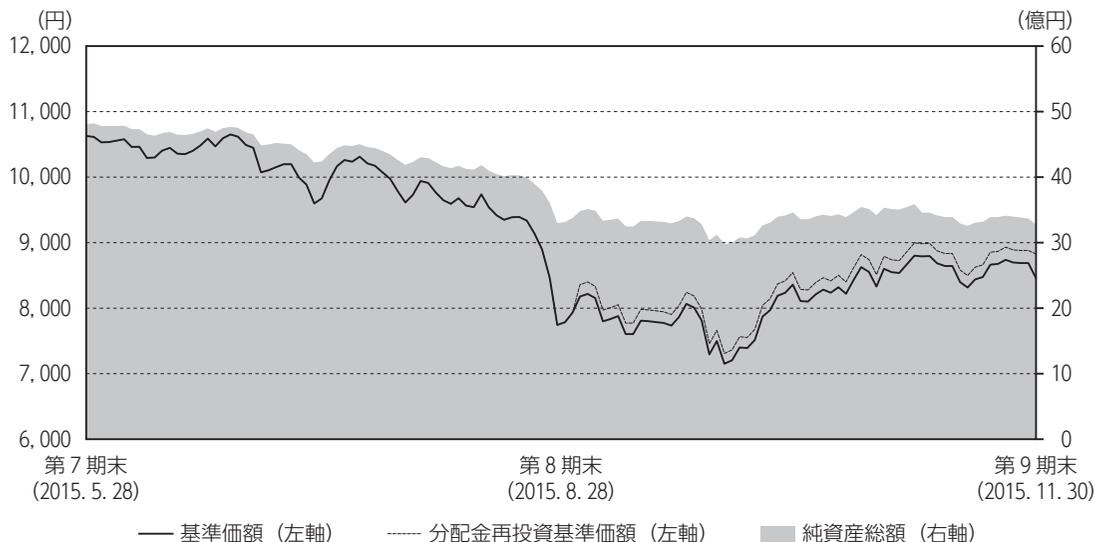
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第8期首：10,628円

第9期末：8,456円（既払分配金360円）

騰落率：△17.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

資源価格下落の影響などから一部の保有銘柄のパフォーマンスが悪化したことや、選定通貨（※）が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

（※）選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。当作成期間においては、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・リアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピアを選定通貨としました。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第 8 期	(期首) 2015年 5 月 28 日	10,628	—	12,900	—	0.2	96.9
	5 月 末	10,616	△ 0.1	12,884	△ 0.1	0.1	96.5
	6 月 末	10,073	△ 5.2	12,500	△ 3.1	0.2	98.4
	7 月 末	9,913	△ 6.7	12,810	△ 0.7	0.2	98.5
	(期末) 2015年 8 月 28 日	8,358	△ 21.4	12,075	△ 6.4	0.2	95.2
第 9 期	(期首) 2015年 8 月 28 日	8,178	—	12,075	—	0.2	95.2
	8 月 末	8,218	0.5	12,083	0.1	0.2	96.3
	9 月 末	7,204	△ 11.9	11,446	△ 5.2	0.2	98.7
	10 月 末	8,550	4.5	12,693	5.1	0.2	98.0
	(期末) 2015年 11 月 30 日	8,636	5.6	12,698	5.2	0.2	95.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○米国株式市況**

米国株式市況は、第8期首より、ギリシャ問題に対する警戒感の高まりや、米国の利上げ観測などから上値が重い展開が続きました。さらに2015年8月以降は、中国での人民元の切下げを受けて中国の景気減速懸念が高まったことなどから中国株が大幅に下落し、中国経済の悪化が世界的な景気減速につながるとの見方が強まったことから、米国株式市況は大幅に下落しました。しかし10月以降は、米国企業の業績が総じて市場予想を上回ったことや、ECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁が追加金融緩和実施を示唆したこと、中国の追加金融緩和の発表、米国の金融政策の不透明感が後退したことなどを好感し、下げ幅を縮小して第9期末を迎えました。

○為替相場

第8期首から2015年6月末にかけては、ギリシャと国際債権団の支援協議が難航し、市場のリスク回避姿勢が強まったことから、安全資産としての円が買われ、選定通貨は対円でおおむね下落しました。7月から9月末にかけても、中国株式市況や商品価格の下落に加え、中国の人民元切下げをきっかけに中国や新興国の景気減速懸念が高まったことで、選定通貨は対円で下落しました。しかし10月に入ると、米国の利上げ観測が後退し、金融緩和環境が維持されるとの期待から、資源国通貨や新興国通貨が買い戻され、選定通貨も対円で上昇しました。11月以降は、米国の年内利上げ観測の高まりが注目されましたが、各国個別の要因から選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期間において、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、ブラジル・リアル、トルコ・リラ、インドネシア・ルピアは対円で下落しました。

○短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では政策金利の誘導目標レンジは0～0.25%で据え置かれました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセ

ントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

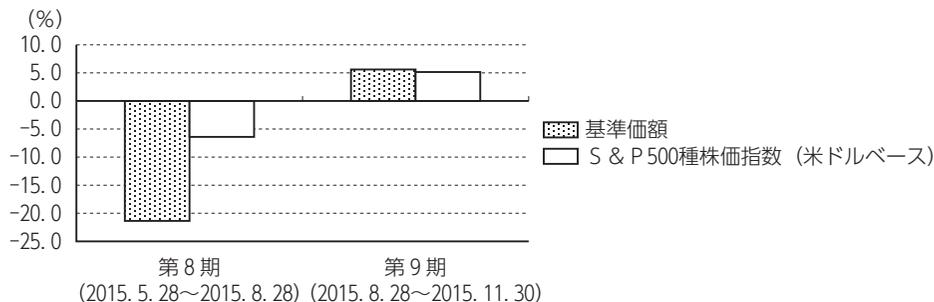
US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して30%以上割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融セクター、情報技術セクター、一般消費財・サービスセクターを高位で組み入れました。銘柄別では、WELLS FARGO、AMERICAN INTERNATIONAL GROUP、GENERAL MOTORSなどを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第8期および第9期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ180円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第8期	第9期
		2015年5月29日 ～2015年8月28日	2015年8月29日 ～2015年11月30日
当期分配金（税込み）	(円)	180	180
対基準価額比率	(%)	2.15	2.08
当期の収益	(円)	180	180
当期の収益以外	(円)	—	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,815	1,873

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第8期	第9期
(a) 経費控除後の配当等収益	264.93円	238.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	80.13	88.56
(d) 分配準備積立金	1,649.93	1,726.44
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,995.00	2,053.02
(f) 分配金	180.00	180.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,815.00	1,873.02

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、配当や自社株買いなどの株主還元策に積極的な姿勢を示している企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。

原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行ないます。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 8 期～第 9 期		項 目 の 概 要
	(2015. 5. 29～2015. 11. 30)		
	金 額	比 率	
信託報酬	56円	0.617%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,030円です。
(投信会社)	(20)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(35)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.621	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

決算期	第8期～第9期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	千口 3,132.83	千円 275,928	千口 9,166.329	千円 806,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

第8期～第9期				第9期			
買付			平均単価	売付			平均単価
銘柄	口数	金額		銘柄	口数	金額	
US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	千口 595.493	千円 50,000	円 83	US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	千口 9,166.329	千円 806,000	円 87

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第8期～第9期）中における利害関係人との取引はありません。

(3) 当作成期間中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第8期～第9期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

区分	第8期～第9期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
公社債	百万円 38,162	百万円 4,559	% 11.9	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,279,066	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.1%

*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 9 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	36,456.411	3,124,606	95.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 9 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	11,961	11,961	12,010

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年11月30日現在

項 目	第 9 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,124,606	92.6
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	12,010	0.4
コール・ローン等、その他	236,428	7.0
投資信託財産総額	3,373,045	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年8月28日)、(2015年11月30日)現在

項 目	第 8 期末	第 9 期末
(A) 資産	3,572,516,336円	3,389,045,792円
コール・ローン等	245,770,990	220,428,889
投資信託受益証券(評価額)	3,314,735,777	3,124,606,137
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド(評価額)	12,009,569	12,010,766
未収入金	—	32,000,000
(B) 負債	90,138,273	112,036,302
未払金	—	16,000,000
未払収益分配金	76,649,974	69,760,368
未払解約金	—	15,640,200
未払信託報酬	13,399,014	10,476,645
その他未払費用	89,285	159,089
(C) 純資産総額(A-B)	3,482,378,063	3,277,009,490
元本	4,258,331,895	3,875,576,048
次期繰越損益金	△ 775,953,832	△ 598,566,558
(D) 受益権総口数	4,258,331,895口	3,875,576,048口
1万口当り基準価額(C/D)	8,178円	8,456円

* 第7期末における元本額は4,524,148,073円、当作成期間(第8期~第9期)中における追加設定元本額は40,453,181円、同解約元本額は689,025,206円です。
* 第9期末の計算口数当りの純資産額は8,456円です。
* 第9期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は598,566,558円です。

■損益の状況

第8期 自2015年5月29日 至2015年8月28日
第9期 自2015年8月29日 至2015年11月30日

項 目	第 8 期	第 9 期
(A) 配当等収益	126,303,534円	97,729,679円
受取配当金	126,289,070	97,718,641
受取利息	14,464	11,038
(B) 有価証券売買損益	△ 1,079,337,874	90,269,863
売買益	19,521,859	102,140,002
売買損	△ 1,098,859,733	△ 11,870,139
(C) 信託報酬等	△ 13,488,299	△ 10,546,449
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 966,522,639	177,453,093
(E) 前期繰越損益金	232,230,136	△ 734,470,146
(F) 追加信託差損益金	34,988,645	28,210,863
(配当等相当額)	(34,125,996)	(34,322,321)
(売買損益相当額)	(862,649)	(△ 6,111,458)
(G) 合計(D+E+F)	△ 699,303,858	△ 528,806,190
(H) 収益分配金	△ 76,649,974	△ 69,760,368
次期繰越損益金(G+H)	△ 775,953,832	△ 598,566,558
追加信託差損益金	34,988,645	28,210,863
(配当等相当額)	(34,125,996)	(34,322,321)
(売買損益相当額)	(862,649)	(△ 6,111,458)
分配準備積立金	738,761,277	691,583,860
繰越損益金	△ 1,549,703,754	△ 1,318,361,281

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は55ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 8 期	第 9 期
(a) 経費控除後の配当等収益	112,816,000円	92,248,552円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	34,125,996	34,322,321
(d) 分配準備積立金	702,595,251	669,095,676
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	849,537,247	795,666,549
(f) 分配金	76,649,974	69,760,368
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	772,887,273	725,906,181
(h) 受益権総口数	4,258,331,895口	3,875,576,048口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第 8 期	第 9 期
	180円	180円
(単 価)	(8,178円)	(8,456円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年11月30日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2015年5月29日

資産		
投資、時価（購入費用148,842,440ドル）	ドル	171,935,742
現金		208
為替先渡契約による評価益		136,393
未収：		
売却済みの投資証券		238,548
配当金		504,603
前払受託会社報酬		8,556
資産合計		172,824,050
負債		
為替先渡契約による評価損		1,915,752
未払：		
投資運用会社報酬		89,997
会計および管理報酬		87,463
専門家報酬		51,501
保管報酬		30,006
名義書換代理会社報酬		15,799
為替仲介会社報酬		13,249
為替運用会社報酬		5,914
負債合計		2,209,681
純資産	ドル	170,614,369
純資産		
豪ドル・クラス	ドル	6,182,344
ブラジル・レアル・クラス		12,176,467
通貨セレクト・クラス		37,181,159
日本円・クラス		12,213,815
米ドル・クラス		102,860,584
	ドル	170,614,369

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型

発行済受益証券数		
豪ドル・クラス		6,323,044
ブラジル・リアル・クラス		14,227,229
通貨セレクト・クラス		42,489,911
日本円・クラス		12,633,593
米ドル・クラス		84,277,606

受益証券1口当りの純資産価額		
豪ドル・クラス	ドル	0.978
ブラジル・リアル・クラス	ドル	0.856
通貨セレクト・クラス	ドル	0.875
日本円・クラス	ドル	0.967
米ドル・クラス	ドル	1.220

損益計算書

2015年5月29日に終了した年度

投資収益

配当収益 (源泉税1,245,433ドル控除後)	ドル	3,442,793
投資収益合計		<u>3,442,793</u>

費用

投資運用会社報酬		1,290,508
会計および管理報酬		120,413
為替運用会社報酬		91,233
専門家報酬		58,789
保管報酬		50,033
名義書換代理会社報酬		27,700
為替仲介会社報酬		22,444
受託会社報酬		5,274
登録料		1,508
費用合計		<u>1,667,902</u>

純投資収益		<u>1,774,891</u>
--------------	--	------------------

実現および評価益 (損) :

実現益 (損) :		
有価証券投資		34,258,099
外国為替取引および為替先渡契約		(18,268,776)
純実現益		<u>15,989,323</u>

評価益 (損) の純変動 :

有価証券投資		(5,393,852)
外国為替換算および為替先渡契約		(1,660,298)
評価損の純変動		<u>(7,054,150)</u>

純実現益および純評価益		<u>8,935,173</u>
--------------------	--	------------------

業務活動の結果生じた純資産の純増	ドル	<u>10,710,064</u>
-------------------------	----	-------------------

(米ドル建て)

投資明細表
2015年5月29日

株数	有価証券の明細	純資産に占める 割合 (%)	公正価値
	普通株 (96.6%)		
	スイス (6.5%)		
	鉱業 (6.5%)		
1,256,900	Glencore PLC - ADR ⁽¹⁾	ドル	11,123,565
	スイス計 (費用13,071,311ドル)		11,123,565
	英国 (6.2%)		
	保険 (6.2%)		
104,000	Aon PLC		10,526,880
	英国計 (費用8,694,196ドル)		10,526,880
	米国 (83.9%)		
	自動車 (6.1%)		
289,500	General Motors Co.		10,413,315
	銀行 (12.7%)		
149,500	JPMorgan Chase & Co.		9,834,110
213,000	Wells Fargo & Co.		11,919,480
			21,753,590
	コンピュータ (1.8%)		
23,000	Apple, Inc.		2,996,440
	総合金融サービス (12.5%)		
23,000	BlackRock, Inc. Class A		8,412,940
118,880	Franklin Resources, Inc.		6,052,181
100,000	Visa, Inc. Class A		6,868,000
			21,333,121
	保険 (6.7%)		
195,000	American International Group, Inc.		11,428,950
	インターネット (5.4%)		
21,300	Amazon.com, Inc.		9,142,599
	建設機械・鉱山機械 (4.3%)		
85,500	Caterpillar, Inc.		7,294,860
	メディア (4.7%)		
152,000	Tribune Media Co. Class A		8,056,000
	石油ガスサービス (6.8%)		
92,000	Halliburton Co.		4,176,800
83,500	National Oilwell Varco, Inc.		4,107,365
145,000	NOW, Inc.		3,352,400
			11,636,565
	不動産 (4.0%)		
178,000	CBRE Group, Inc. Class A		6,806,720
	小売り (6.2%)		
74,500	CarMax, Inc.		5,292,480
57,000	Tiffany & Co.		5,342,610
			10,635,090
	半導体 (7.2%)		
120,500	Applied Materials, Inc.		2,415,600
285,000	Intel Corp.		9,821,100
			12,236,700
	ソフトウェア (5.5%)		
198,500	Microsoft Corp.		9,301,710
	米国計 (費用119,827,296ドル)		143,035,660
	普通株計 (費用141,592,803ドル)		164,686,105

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型

元本	有価証券の明細	純資産に占める 割合 (%)	公正価値
ドル 7,249,637	短期投資 (4.2%)		
	英国 (4.2%)		
	定期預金 (4.2%)		
	Barclays Bank.		
	0.03% due 06/01/15		ドル 7,249,637
	英国計 (費用7,249,637ドル)		7,249,637
	短期投資計 (費用7,249,637ドル)		7,249,637
投資証券合計 (費用148,842,440ドル)	100.8	ドル 171,935,742	
現金およびその他の資産を上回る負債	(0.8)	(1,321,373)	
純資産	100.0	ドル 170,614,369	

⁽¹⁾ 米国預託証券

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2015年5月29日現在の豪ドル・クラス為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
A U D	Citibank N. A.	8,153,158	2015年6月17日	U S D	6,461,679	ドル -	ドル (226,044)	ドル (226,044)

2015年5月29日現在のブラジル・レアル・クラス為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N. A.	40,423,360	2015年6月17日	U S D	13,284,498	ドル -	ドル (689,549)	ドル (689,549)

2015年5月29日現在の通貨セレクト・クラス為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
B R L	Citibank N. A.	20,228,505	2015年6月17日	U S D	6,640,968	ドル -	ドル (338,217)	ドル (338,217)
I D R	Citibank N. A.	86,505,311,585	2015年6月17日	U S D	6,521,215	3,197	-	3,197
I N R	Citibank N. A.	461,026,130	2015年6月17日	U S D	7,169,267	27,450	-	27,450
R U B	Citibank N. A.	270,667,078	2015年6月17日	U S D	5,235,834	-	(119,740)	(119,740)
T R Y	Citibank N. A.	18,486,775	2015年6月17日	U S D	6,809,239	105,746	-	105,746
Z A R	Citibank N. A.	68,391,351	2015年6月17日	U S D	5,687,689	-	(81,379)	(81,379)
						ドル 136,393	ドル (539,336)	ドル (402,943)

2015年5月29日現在の日本円・クラス為替先渡契約

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	純評価益 / (損)
J P Y	Citibank N. A.	1,591,960,556	2015年6月17日	U S D	13,291,701	ドル -	ドル (460,823)	ドル (460,823)

通貨の略称

A U D	-	豪ドル
B R L	-	ブラジル・レアル
I D R	-	インドネシア・ルピア
I N R	-	インド・ルピー
J P Y	-	日本円
R U B	-	ロシア・ルーブル
T R Y	-	トルコ・リラ
U S D	-	米ドル
Z A R	-	南アフリカ・ランド

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第9期の決算日（2015年11月30日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を60ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年5月29日から2015年11月30日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
540 国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996		
567 国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997		
555 国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000		
553 国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000		
536 国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000		
548 国庫短期証券 2015/11/2	2,000,000		
550 国庫短期証券 2015/11/9	2,000,000		
554 国庫短期証券 2015/11/30	2,000,000		
559 国庫短期証券 2015/12/21	2,000,000		
557 国庫短期証券 2015/12/14	1,999,999		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年11月30日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（28,512,126千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年11月30日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちB B 格 以下組入 比	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 14,920,000	千円 14,922,064	%	%	%	%	%
			52.1	—	—	—	52.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	2015年11月30日現在					
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	555 国庫短期証券	—	千円 2,500,000	千円 2,500,000	2015/12/07	
	557 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,997	2016/02/08	
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,532	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,536	2016/09/20	
	合 計	銘 柄 数 金 額	9銘柄		14,920,000	14,922,064

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第5期 (決算日 2014年12月9日)

(計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

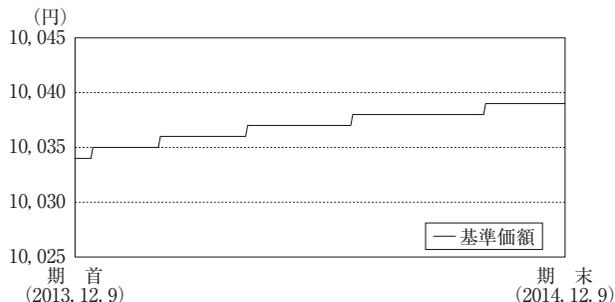
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	
(期首)2013年12月9日	10,034	—	69.6
12月末	10,035	0.0	63.0
2014年1月末	10,035	0.0	70.9
2月末	10,036	0.0	65.8
3月末	10,036	0.0	67.1
4月末	10,037	0.0	69.1
5月末	10,037	0.0	69.1
6月末	10,037	0.0	67.6
7月末	10,038	0.0	72.5
8月末	10,038	0.0	73.1
9月末	10,038	0.0	68.8
10月末	10,039	0.0	64.6
11月末	10,039	0.0	64.6
(期末)2014年12月9日	10,039	0.0	58.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,034円 期末：10,039円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行なっています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	2,599,774	(2,690,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
464 国庫短期証券 2015/1/14	149,999		
419 国庫短期証券 2014/12/22	99,999		
477 国庫短期証券 2014/12/8	99,996		
475 国庫短期証券 2014/11/25	99,992		
454 国庫短期証券 2014/8/25	99,990		
433 国庫短期証券 2014/5/26	99,988		
493 国庫短期証券 2015/2/23	89,998		
473 国庫短期証券 2014/11/17	79,995		
452 国庫短期証券 2014/8/18	79,991		
431 国庫短期証券 2014/5/19	79,991		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

区 分	当 期			期 末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	480,000	479,995	58.5	—	—	—	58.5

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	当 期			期 末		
	銘 柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	479 国庫短期証券	—	70,000	69,999	2014/12/15	
	419 国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/22	
	464 国庫短期証券	—	150,000	149,999	2015/01/14	
	490 国庫短期証券	—	70,000	69,997	2015/02/09	
	493 国庫短期証券	—	90,000	89,998	2015/02/23	
合計	銘柄数 金額	5銘柄	480,000	479,995		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	479,995	58.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 , そ の 他	340,319	41.5
投 資 信 託 財 産 総 額	820,315	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	820,315,287円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	340,319,449
公 社 債 (評価額)	479,995,838
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	820,315,287
元 本	817,136,908
次 期 繰 越 損 益 金	3,178,379
(D) 受 益 権 総 口 数	817,136,908口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,039円

* 期首における元本額は815,881,793円、当期中における追加設定元本額は358,153,378円、同解約元本額は356,898,263円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)998円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり)112,594,660円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし)73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-07-9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-09-9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-11-9,962円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Cコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型)998円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)3,988,832円、U S短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)4,984円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回り C Bファンド(限定追加型)為替ヘッジあり、009,001円、ダイワ/シュローダー・グローバル高利回り C Bファンド(限定追加型)為替ヘッジなし904,221円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド - 成長の軸音(つちおと) - 11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ277,939,483円、ダイワ/アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ155,681,197円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型)4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型)4,981,569円、ダイワ U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)199,295円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型)399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型)99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型)399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型)99,771円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンド(為替ヘッジあり)20,016,725円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式会社ファンド(為替ヘッジなし)4,000,959円、ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株式会社ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルターンズ - 日本円・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルターンズ - 豪ドル・コース(毎月分配型)99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルターンズ - ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルターンズ - 米ドル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルターンズ - 通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,039円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	423,234円
受 取 利 息	423,234
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,048
売 買 益	2,048
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	425,282
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	2,803,343
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 1,321,868
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,271,622
(G) 合 計 (C + D + E + F)	3,178,379
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	3,178,379

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。